

## 市民意見聴取に係る施策の概要

**案件名:** 『学びの多様化学校』の設置及びあり方の検討  
**(副題)** (『学びの多様化学校』に係る設置基本方針の策定)  
**局課名:** 教育委員会事務局 学校教育部 こども教育支援課

施策の目的	<p>○誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策・支援の一つとして、多様性を認める学びの場を整備するため、柔軟な教育カリキュラムの編成などが可能な『学びの多様化学校』の設置及びあり方を検討します。</p> <p>○『学びの多様化学校』を不登校対策・支援のフラッグシップ校として位置付け、同学校での取組・成果を学校現場に展開し、効果的な支援方法や多様な学びなどを実践していくことで、個に寄り添った児童生徒の支援充実と教育の多様化を推進します。</p>
現状・背景	<p>○「尼崎市総合計画」や「尼崎市教育振興基本計画」に基づき、教育支援室「ほっとすてっぷ(市内3カ所)」の設置やハートフルフレンド(ボランティア)によるアウトリーチなど不登校対策・支援として、子どもたち一人ひとりのニーズに応じた学びの場の整備・支援に取り組んでいます。</p> <p>○小・中学校における不登校児童生徒数は全国で約29万人を超え、社会的な課題となっており、本市においても年々増加傾向にあり、小・中学生合わせて約1,300人と全国よりも高い割合で推移しています。</p> <p>○国においては、令和5年3月31日に誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策【COCOLOプラン】がとりまとめられ、不登校の児童生徒が学びたいと思った時に学べる環境の整備の推進が強く求められています。</p>
課題 (施策評価結果を含む)	<p>○不登校対策・支援については、更なる支援手法についても調査・研究を進め、方向性をまとめる必要があります。</p> <p>○不登校となる児童生徒は年々増加しており、今後も増加し続ける可能性が高いと考えられます。そのため、学校以外の学びの場を整備していくとともに、現在の学校の取組も見直していく必要があります。</p> <p>○不登校児童生徒のうち、環境が変われば学校へ通える子どもや、不登校を経験したもののもう一度学校へ行きたいと望む子どもなど個々の状態に配慮し、柔軟に対応できる環境の整った学校が求められています。</p>
施策の策定にあたっての考え方	<p>○本市の不登校児童生徒の状況やこれまで本市が取り組んできた不登校対策・支援に係る施策など、以下の視点を踏まえて、専門的知見を持った有識者等から幅広い意見を聴取するなど総合的に検討を進めていきます。</p> <p>①本市の不登校児童生徒の状況について          ②本市の不登校対策・支援について          ③これからの不登校対策・支援について          ④『学びの多様化学校』のあり方・方向性について          ⑤学校現場への展開について</p>
意見を聴取するポイント	『学びの多様化学校』の設置やあり方に対する意見に加えて、今後の不登校対策・支援についても幅広く意見を伺います。
市民意向調査(ステップ2)の実施手法	令和6年1月9日(火)から2月13日(火)まで市ホームページにおいて意見を募集することとします。
お問い合わせ先	<p>教育委員会事務局 学校教育部 こども教育支援課          〒661-0974 兵庫県尼崎市若王寺2丁目18番6号 子どもの育ち支援センター2F          電話番号(TEL)06-6409-4995          ファクス(FAX)06-6409-4299          メールアドレス(Eメール) ama-kodomo-kyoiku@city.amagasaki.hyogo.jp</p>